

担当教員授業題目	野外調査法実習 III (信州大学)			担当教員	東城 幸治
英文授業名	Exercise for field survey III			副担当教員	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	
授業形態	実習	備考	夏休み期間中に3泊4日の合宿(信州大学 山岳科学研究所 乗鞍ステーション利用予定)		
<p>(1)授業のねらい</p> <p>山岳域における野外調査を通じて、自然の歴史性、地形発達史、生態系の成り立ちと相互作用などについて知見を深め、探求する能力を育てる。関連する専門分野における知識や技能を備え、それらを応用できる能力を身につけることを目標におく。</p> <p>(2)授業の概要</p> <p>北アルプス(槍-穂高連峰、焼岳)や乗鞍岳を対象に、地史(山岳地形形成史)や気象、植生(森林限界域)や動物の生態や多様性に関する野外調査、動植物の相互作用などに関する野外調査・実習を実施する。これらの実習を通して、山岳域における基礎的な野外調査法の修得を図る。加えて、これらの実習や資料・文献等による学習を通して、山岳生態系を総合的に修得するための第一段階とする。</p> <p>(3)授業計画</p> <p>1) 実習ガイダンス: 実習内容や実習における到達目標、実習日程などについて、電子メールで通知し、実習資料の送付・自習により、野外調査の準備を進める(受講者が確定した後、5~6月に実施)。</p> <p>2) 野外実習: 8-9月の夏休み期間に実施(2017年は9月中旬に実施予定)</p>				<p>1日目午後: 乗鞍ビジターセンターに集合、乗鞍ステーションに移動し、ガイダンス 夜間: 夜間調査(灯火昆虫相のライトトラップ調査)</p> <p>2日目午前~午後: 乗鞍高原内での野外調査</p> <p>3日目午前~午後: 上高地での野外調査</p> <p>4日目午前: 乗鞍岳での植生調査(森林限界域~高山植物帯)、実習のまとめ作業 昼頃に解散</p> <p>*高山帯・亜高山帯での野外実習なので、気象条件により実習スケジュールや内容そのものを変更することがあります。</p> <p>(4)成績評価の方法</p> <p>期間中の実習内容(取り組み態度等)や実習後に提出してもらったレポートにより総合的に評価する。</p> <p>(5)履修上の注意</p> <p>信州大学付属の施設を利用しますが、1泊1,000円程度の宿泊経費と食費がかかります。乗鞍ビジターセンターまでは、公共の交通機関でアクセス可能です(交通費は、受講者負担)。野外調査ですので、トレッキングに向けた服装等の装備が必要です。受講希望者には別途、詳細な案内をします。</p> <p>(6)質問、相談への対応</p> <p>電子メール(東城宛: ktojo@shinshu-u.ac.jp)で、随時受け付けます。</p>	
<p>【教科書】受講者が確定した後に、資料を配布します。</p> <p>【参考書】受講者が確定した後に、紹介します。</p>					